

第 11 回佐久市総合計画審議会 議事録（要旨）

日 時：平成 24 年 10 月 19 日

16:00～16:50

場 所：佐久消防署講堂

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 事

(1) 第一次佐久市総合計画後期基本計画の進捗管理について

事務局より資料説明（資料 1-1）（資料 1-2）（資料 1-3）（資料 1-4）（資料 1-5）
質疑、意見

(委員)	資料 1 - 1 の 2 ページ目の実施スケジュールについてですが、進行管理で成果指標が毎年測定できないものは測定可能な年度のみ実施する…と書いてありますよね。民間企業ではこんなことは言っていないよ。その場合は、この指標につながるような代替指標を設定してやっていくわけです。そういうお考えはないのですか。
(事務局)	目標の関係でございますけれども、ほとんどの部分で数値目標を毎年管理できようかと思いますが、例えば調査をした結果により数字を把握する、などの場合に毎年できないというケースが考えられると思います。ただ、今ご意見がございましたので、何か他に測れる方法等があれば、把握できる範囲の中で進行管理をしてまいりたいと考えております。
(委員)	毎年確実に、指標をもって管理していただきたいということです。よろしくをお願いします。

(2) その他

第一次佐久市総合計画後期基本計画策定に参画してのご意見・ご感想について
事務局より資料説明（資料2）

意見交換

(委員)	私は2年前に総合計画審議会の委員に選ばれました。私は、専攻である教育行政と教育社会学をどう生かしていくかを考えてきましたが、この委員をやったおかげで、教育社会学をこういう所にも生かせるのかと思いました。自分に自信がつけました。
(委員)	とにかく面白かったし、すごく勉強になりました。
(委員)	いろいろありがとうございました。なかなか難しかったです。
(委員)	時間があっという間に過ぎてしましまして、全体会議ではあまり意見を申し上げられなかったのですが、特に部会で自分の申し上げたいことをすべて言うことができました。ありがとうございました。
(委員)	このような会議に初めて出させていただいて、佐久の人達がどんなことを考えているのかがおぼろげに分かった気がしました。 実は私は、東京に20年以上、埼玉に20年暮らしてきたのですが、そんな私の経験で言わせてもらいますと、埼玉は東京のベットタウンで、埼玉の人は東京を凌駕しようという気持ちはないが、その代わり東京を利用しようとする気持ちが非常に強いですね。産業の産物は東京に出しますし、そこで働いている人達はいかに通勤できるかを考えるわけです。 そういうことから、東信地区における佐久市はどうかかなと考えていました。東信地区については、計画の中に「佐久地域の中心市としての役割を果たし、佐久地域全体の魅力向上と一体感のあるまちづくりを進めます。」と書いてあるのが基本的な考えだと思います。でも私が見るところ、東信地区の中心は、知名度・集客力や経済力からしてやはり軽井沢が絶対的にトップではないかと思えます。 ですから、佐久地域が中心ではない、と言うのはおこがましいですが、佐久地域はどれだけ軽井沢の持つ力を利用するかを考えるべきだと思います。ここからどれだけの人が通勤しているのか、この地域の産業物がどれだけ活用されているのか、そのあたりの視点がやや足りないのではないかと思います。いろいろな議論がありまし

	<p>たが、どうしても佐久中心でしか考えないという印象を受けました。</p> <p>あまり参考にならない意見かもしれないですが、私はそのように感じたということです。</p>
(委員)	<p>初めての参加のため、いろいろ申し上げることはございませんが、このような会議を開いてくださり、また素晴らしい計画ができたことに敬意を表したいと思います。</p>
(委員)	<p>途中から充て職ということで参加いたしました。まず、会長さんをはじめスタッフの皆さんに、毎回膨大な資料を作ってください。敬意を表します。このような叩き台がなければ審議会は動かなかったと思います。これからも、計画だけで終わるのではなく目標が達成できるよう、皆さんの努力をお願いして感謝の言葉としたいと思います。</p>
(委員)	<p>今日の資料で後期基本計画の目標・チャレンジ一覧表をいただいたわけですが、現状から目標値へと動く中で、とても興味深い数字ではあると思います。ただ、中には貸館系の施設の利用数が出ていますが、市で管理をするもの、県から委託をされているもの等があるわけで、また各地区で運営している施設もあるわけです。県から委託されている佐久勤労者福祉センターの例は、上田の勤労者福祉センターとは運営方法が少し違う気はしますが、利用率の多い施設ですので、目標値の中でどのようなチャレンジができるのか大いに期待しているところです。一年間ありがとうございました。</p>
(委員)	<p>昨年から一年間ありがとうございました。途中から参加いたしましたので、実質的な部分にタッチできなかった部分もありますが、大変勉強になり、良かったと感じております。</p>
(委員)	<p>前任者の残任期間を引き継いでということで、今日出席させていただきました。前任の役員の方を含めまして、皆さんにはこのような会議を持っていたことに敬意と感謝を申し上げます。実は、私も区長総会の挨拶で、チャレンジ！！佐久の文章を利用させていただきました。素晴らしい計画ですので、できるだけ早い段階で実施されるようお願いしたいと思います。</p> <p>先程質問等をどうですかと言われましたが、まずは難しい、基礎知識がないと分からないというのが実情でございます。そんなことで私の感想とさせていただきます。</p>

<p>(委員)</p>	<p>委員の皆さん、ご苦勞様でした。そして会長、ご苦勞様でした。この後期基本計画の根底にあるのは、市長の世界最高健康都市を作るという構想だと理解しております。私の所属団体に関係する具体的な数値目標をいただいておりますので、実現に向けて、会に戻って努力したいと思っております。また皆さんご要望があれば、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。皆さん、本当にご苦勞様でございました。</p>
<p>(委員)</p>	<p>2年にわたり素晴らしい審議会を開催されまして、素晴らしい計画ができたと思っております。これからは行政で計画を進めてもらえれば、素晴らしい佐久市ができると思います。そんなことで、我々も、何かと行政に協力していきたいと思っております。ありがとうございました。</p>
<p>(委員)</p>	<p>今日が初参加なので感想という感想はありませんが、これを機に興味を持って、関わることがあれば関わっていきたいと思っております。</p>
<p>(委員)</p>	<p>スポーツ関係で感想を述べたいと思います。実は、総合運動公園について、皆さんで見学に行ったのを覚えている方もいらっしゃると思いますが、現在、6割完成しております。先ほど別の委員さんから軽井沢の話が出ましたが、我々は、スポーツ関係・体育関係では、佐久市を東信の拠点にしたいと考えております。実は今日も体育関係の役員を連れて視察をしてまいりましたが、大体400のトラック、9500人の収容、また300のサブトラックは長野県にはないものでございます。また、真ん中は自然の芝を敷いてあって、おそらくもう一度くらいは植ええをしたいと思います。計画が進んでいるところでございます。</p> <p>また創錬の森も進んでおり、青少年の健全育成の観点からも東信で唯一のものにしたいという思いでやっております。我々の思いと、市の皆さん、企画、総務、建設の皆さんの思いが一体となって動いていければいいと思っております。</p>
<p>(委員)</p>	<p>いろいろ大変勉強させてもらい、ありがとうございました。やはり総合計画ですから、いろいろな課題を全体的に融合する、あるいは長い目を見たときに何の課題が大きいかを考えること、そして本質的な議論をすることが大事だと思うわけです。私もいろいろ言わせていただきましたし、かなりの内容のものできたと思います。</p>

ただちょっと意見を言わせていただくなら、佐久といえば佐久病院がありますし、佐久長聖がスポーツですごいことですか、健康長寿ですとか、いろいろアピールできる切り口があるので、それを大きく「世界最高健康文化都市」という切り口でとらえることが大事で、せめてサブタイトルレベルの表現として入れるべきだと主張しましたが、結局入らないこととなりました。しかしながら、昨年10月の実質的な審議の後に「世界最高健康都市構想・世界最高健康都市実現プラン」の原案を配布されましたので、両者の関連はほとんど議論されませんでした。本来なら、上位計画に体系化され位置付けられていて、その重要テーマ編、ブレイクダウン編、として検討を深めたら良いと思っていたので、これは公共交通についても同じですが、本審議会とリンクして議論を行ったら良かったと思います。

それから、総合計画の役割としては、大きな目で見ても大局観を失わないということですから、先程の進行管理も、あまり細かい所にとらわれず、常に大きな目で見ている方が大事な視点かと思います。当然数値は管理していくべきですが、大局的に見ないと大事な所を見失う可能性がある、大事な所というのは、長期で見たときにどうかということ。これは場合によっては犠牲にするものもあるでしょうが、長い目で見たらどうか、全体で見たらどうか、本質的な議論ではどうか、常に様々な視点を物差しとして見ながら検討していただければ良いと思います。以上です。ありがとうございました。皆さんお世話になりました。

(委員)

いろいろありがとうございました。審議会に参加していろいろ勉強になりました。私は環境審議会にも出ておまして、2つ出ていると話題の中で繋がる部分も多いと思いました。そのひとつに、チャレンジの所で何か新しい事業ということで、環境にも出ていましたが、新エネルギー事業、太陽光ですか、佐久市は望月で用地を提供してスタートするという話をお聞きしました。ある意味で、原発事故以来、電力事情が変わろうとしていく中で、佐久市が新たなチャレンジという項目で管理するのはとても当てはまると思います。

この会議に参加させていただき、最終的には私たち市民へのサービスの提供につながっていく時代になっていくのかなと感じています。ありがとうございました。

<p>(委員)</p>	<p>初めてこの審議会に出させていただきましたので、委員としての感想はないわけですが、私の立場上といたしましては、基本計画に示されている方向性があり、またそれに基づく目標があります。それにつきまして、我々の関わっていく業務につきましては、佐久市の基本計画に沿った形でできる限り協力させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
<p>(委員)</p>	<p>勉強になって良かったと思うんですが、やはり、つらかったというかきつかったというのは、資料を見て理解することでした。市民として情報とかアイデアを持っていることは確かだけれども、やはり自分たちが素人すぎて、なぜこうなっているのかの理由を知らない。ただ、投げかけると完璧な理由が返ってきて、ああそういうことだったのかと、基本的には勉強になるので、委員になって良かったとは思いますが。</p> <p>ならば次にやる人は、前もって勉強しておくとか、やる気のある人は勉強してみたらどうかという話を、さっきも別の委員さんとしていたのですが、でも結局素人はプロにはなれないので、結局は素人として意見を出す方が良いのではないかということで終わったんです。</p> <p>だから、我々は、文脈の大意の部分・骨の所に関わったものではなくて、やはり言い回しの部分で「これはちょっとおかしいんじゃないの」というように関与した、最初から最後までそんな役割だったかと思うんです。大枠で間違っていないよということを追認したという感じで。それを大枠の部分まで立ち入って、ここはこうあるべきという議論を貫いて総合計画を大きく変えたという歴史に残るようなことをするためには、直前に資料が来て、すぐに考え答えを出す、というタイミングでは相当の経験がないと無理かなあということで、市民としてもっと勉強していきたいと感じました。ありがとうございました。</p>